

令和6年 黒部市教育委員会2月定例会 議事録

日時	令和6年2月26日(月) 午後1時30分～午後3時23分
場所	黒部市役所203会議室
出席者	教育長 中 義文 教育委員 紙谷 真紀 教育委員 浅野 詠子 教育委員 吉澤 浩司 教育部長 藤田 信幸 学校教育課長・学校給食センター所長 小倉 信宏 生涯学習文化課長 牧野 恵美 スポーツ課長 上島 晴香 図書館長 寺林 佳子 学校教育班長 庭田 順子 こども支援課長 浦田 武治 学校教育課主幹 櫻田 宜久 生涯学習文化課主幹 王生 透 学校給食センター主幹 松平真由美 学校教育課長補佐 尾崎俊太郎
傍聴人	なし (会議冒頭「市民憲章」朗唱)
教育長	只今から、黒部市教育委員会2月定例会を開会します。「議事録の署名について」は、私が署名します。次に、「1月定例会の議事録」について、訂正・質問等がありましたらお願いします。
委員	(質問等なし)
教育長	質問等がないようですので、記載の通りといたします。 次に「4 教育長報告」をいたします。 1 所管事業の状況報告について(行事等) (1) 2月4日(日) 第18回黒部市民スキー競技大会(宇奈月温泉スキー場) (2) 2月10日(土) 令和5年度生涯学習フェスティバル(～11日、コラーレ) (3) 2月13日(火) 令和5年度伝承芸能・伝承技術士認定式(あおーよ) (4) " 令和5年度黒部市教育文化表彰式(あおーよ) 2 出席した会議等の概要報告について (1) 2月9日(金) 黒部市教育振興協議会(市役所) (2) 2月14日(水) 学校給食運営委員会(市役所) (3) 2月19日(月) とやま学校多忙化解消推進委員会(オンライン) (4) 2月22日(木) 黒部市PTA連絡協議会活動報告会(パレス扇寿) 3 所管事務に関する問題・情報等について(児童・生徒の安全・安心に関すること)

[前回会議以降、今回会議までの間]

- (1) 児童・生徒の交通事故等 (0件)
- (2) 学校事故等 (7件)
- (3) 不審者情報等 (1件)
- (4) 鳥獣出没情報 (0件)

4 いじめの認知件数及び指導の経過 (1月報告分)

- (1) 小学校 (新規認知件数3、指導中29、解消2)
- (2) 中学校 (新規認知件数0、指導中3、解消0)

5 不登校児童生徒数 (1月報告分)

小学校32人/中学校49人/計81人

※月末で当該年度中の欠席日数が30日以上となる児童生徒を計上

6 令和5年度在籍児童・生徒・園児数 (令和6年2月1日現在)

- (1) 小学校 児童数1,868人 (前月比 1人減)
- (2) 中学校 生徒数1,064人 (前月比 1人減)
- (3) 幼稚園 園児数 28人 (前月比 増減なし)

7 感染症関連情報

月 日	学校名	学年、学級等	閉鎖状況
1月31日(水)～2月2日(金)	石田小学校	第3学年	学年閉鎖
〃	中央小学校	第2学年3組	学級閉鎖
〃	清明中学校	第2学年3組	〃
2月6日(火)～2月8日(木)	石田小学校	第5学年	学年閉鎖

以上、教育長報告としますが、確認、質問等がありましたらお願いします。

委員

いじめ認知件数について、1月に入って3件の事案のいじめがあったという報告を先ほど受けました。気になるのは1件目で、関わった人数の報告はありませんでしたが、人数はどういう状況ですか。

学校教育班長

1対1です。友達との関りの中で起こったものです。

委員

他の2件についても1対1ですか。

学校教育班長

そうです。

委員

集団で1人をいじめているのかなと疑問に思ったので確認させていただきました。学校の事故報告の中で、子供同士のじゃれあいで行き過ぎたところが出てきています。自分の感情が抑えられず手が出たり暴力をふるったりすることが多いような気がしました。地震があって新学期が始まって。心が落ち着かない部分が行動の中で出てきているのかなと心配になりました。子供の感情が荒れていることに関して、地震の影響がなければと思いますが、教育長はどう思われますか。

教育長

これは家庭の問題も一部あると思っています。子供が成長する中で、どうやって感情表現するか、どうやって抑えるか、そういったことはあると思います。また、地震でいろいろと不安定になっていることもあると思います。複合的な要因かと思っています。以前から委員が言われるように、子供の他者認識、自分と相手との距離はそれぞれの相手によって違うというのを感じ取って、言葉遣いや動作について配慮するものですが、

そういったことを全部一律に学校で学習させる、そういった指導だけでは限界があり、これはやはり家庭と地域と学校と一体になってやっていかなければならないだろうと思っています。何かその子供たちの、心が変化してきているのかという問いに対してですが、私は、昔も今も子供たちは、「分かってほしい」「知りたい」「できるようになりたい」そういう思いはみんな持っていると思いますので、そこへどうやって寄り添うかだと思います。保護者のしつけばかりではありませんが、そういったことも考えていかなければならないかなと思っています。社会全体の問題であるかもしれません。耐性は付けてあげなければならぬけれども、そのためのマニュアル的なものはないと思います。

委員

地震で落ち着かなかつた環境で、発散できなかつた子供が、実際、元気に過ごしているけど心の中で発散できない気持ちがある、どこかで、遊びやいろんな人との人間関係の中で、もっと発散できたらなと思います。それから、PTAでも役員のなり手がいないなど、その根本の部分に今の社会の変化があるのかなと思います。たくさんの人と過ごせた幼少期がなかつた、個々に大事にされてきたけれども、関わるのが苦手な世代が親になってきているので、子供に集団の中でどう過ごすのかという経験がないから、伝えることができない、そういった親の子供たちにもフォローできる手立てがあればいいなと思いました。

教育長

難しいですが、そういったことを意識していくことは大事だと思います。親の一言で、子供は随分変わるものだと思います。何年生になっても「今日どうだった」と聞いていても成長しないのではないかなと思います。ある学年から「明日、学校で何があるの」と聞けるような親でになって欲しいと思います。毎日、今日何があったか聞かれても、都合の悪いことは言いません。褒められたことは言います。でもそれでは自分で考えて進むことはないのではないかなと思います。「明日学校で何があるの」そんな楽しい時間があるの、準備するものはないの」と問いかけ子供が自分で準備するようになればいいと思います。朝になって、親が「あれ入れた」「連絡帳みせて」ばかりだと成長がないと思います。機会があればそういったことも言っていきたく思います。ほかどうでしょうか。

委員

在籍児童・生徒・園児数及び学級数について質問です。クラス替えする学校とそうでない学校があると聞いていますが、それは何か理由があつてのことですか。

教育長

学級編制については、複数の学級がある学校について、何年生でクラス替えしなければいけないという決まりごとはありません。したがって学校がその時の状況で、環境や体制を考えてでクラス替えをしています。来年度は今までクラス編制替えしていなかつた学校でもクラス編制替えがあるかもしれません。また、1年ごとにクラス編制替えをしている学校もあります。それは環境や体制と言いましたが、「卒業までに多くの先生に関わって欲しい」また、「多くの子供たちと関わって欲しい」という考え方もありますし、逆に「変わると困る」ということもあります。生徒指導上、どうしてもこの人間関係を改善するためには編制替えをしなければならないというような学校の考えもあります。また3クラスあるが、担任を4、5人配置して学年担任制にしようという考え方もあります。いろいろな形は、子供のためにどれが一番良いかということで考えています「学級編制替をするのか」「なぜしないのか」「編制替してください」とか教育委員会に問い合わせがくることもありますが、各学校では全体を総合して決めている状況であります。ほかよろしいですか。

それでは次「5 議案」の審議に移ります。本日の議案は1件であります。「議案第7号 令和6年度黒部市教育の方針について」であります。事務局から説明願います。

学校教育課長

令和6年度黒部市教育の方針については、黒部市教育振興協議会から答申をいただいております。その中で、附帯意見ということで、2件の意見をいただいております。1件が、「小学校就学前の児童が円滑に小学校に就学できるよう取組を進められたい」と

ということ、もう1件が、「文化部の地域移行について令和7年度以降の黒部市教育の方針に盛り込めるよう努められたい」ということです。前回1月定例会におきまして、前年度からの変更内容等をご説明申し上げておりますが、その後、教育振興協議会の中で少しご指摘いただいた内容について、訂正を加えた部分がございます。まず、「など」や「等」の取扱いについて、内容等確認をしましたところ、なくても差し支えない箇所がいくつかございましたので削除しております。その他、先にお渡ししたときに段落や行間について体裁が整っておりませんでしたので、それを直させていただいたものについて訂正をさせていただいてます。また、「スポーツ施設の整備・充実」で「(1)」となっておりますが、内容につきましては1項目しかございませんので、「(1)」を削除しております。なお、「(生涯学習の推進)」の1の(1)で、①②の行間がありませんでしたので、1行設けております。あわせて(2)の文末に句点がありませんでしたので、追記しております。

教育長 委員の皆様には1月にも見ていただいております。それを教育振興協議会の意見も踏まえて訂正等したところでもあります。質問等あればお願いいたします。以前も「等」「など」話題になったことがありますが、それを取っていいところは削除したということですので。あと、段落、体裁を整えたものであります。質問等よろしいですか。

委員 附帯意見に挙げられた、小学校就学前の児童が円滑に小学校に就学できるよう取組を進めるというような内容は盛り込まないのですか。

学校教育課長 小学校の就学前の関係であります。委員の方から、教育の方針の最初にあります「I 人間性の基礎を培う家庭教育」の方の中にも少し盛り込むべきではないかというご意見がありました。これについては、教育の方針の別の箇所「9 幼稚園、学校等の円滑な運営」の中で、幼稚園、保育所と教育の部分との連携というのがあるということで、説明をさせていただきました。文化部の移行については、令和8年度からの実施を見越して、令和7年度以降の教育の方針に触れていかなければいけないというご意見をいただいたところです。

教育長 よろしいですか。それでは議案でありますので、採決したいと思います。議案第7号について、原案の通り決定してよろしいでしょうか。

委員 (異議なし)

教育長 はい。ご異議ありませんので、議案第7号は原案の通り決定しました。

次に、「6 報告」に移ります。初めに、「報告第1号 令和6年度一般会計予算教育委員会関係の概要について」報告願います。

教育部長 令和6年度一般会計当初予算案の規模につきましては226億7000万円で過去最大となっております。歳入につきましては、費目ごとに増減はありますが、前年度と同水準を確保できるものと見込んでおります。歳出につきましては、社会保障関係経費、大型建設事業の起債の償還、人事院勧告に基づく人件費等の増加、物価高騰などによりまして、歳出全体では8億円の伸びとなり、厳しい予算編成でありましたけれども、黒部宇奈月キャニオンルートの一般開放や北陸新幹線の敦賀延伸といった本市にとってのチャンスを最大限に生かしていくということとしております。予算編成方針につきましては、黒部の未来枠といたしまして、市長の公約であります、「住む人が輝き、人の人を呼び込むまちづくり」のため、重点的に取り組むものとしまして、資料のとおり挙げてあります。これから各担当課から、新規事業、拡充事業、その他重要なものを中心に内容を説明いたします。

それでは最初に学校教育課からご説明いたします。総務費、物価高騰対策対策費にあります学校給食費負担軽減対策事業費2,750万円であります。これにつきましては、学校給食食材の物価高騰に伴う保護者の負担軽減対策ということで、令和4年度から継続して取り組んできているものでございます。なお、給食費につきましては、後程またご説明をいたしますので割愛します。これにつきましても、令和6年度までは、物価高騰対策ということで予算措置していますが、令和7年度以降、国、県含めましてどういう形になるのか、不透明な部分があります。そういったことを含めて、今後も給食費につきましては、いろいろな角度から検討していく必要があると考えております。次に教育研究費であります。こちらの方は、ほっとスペースの教育相談員、指導員の設置、学校司書の設置、スタディ・メイトの設置、こういったものにつきまして、市の重点課題ということで計上しております。なお、すべての予算においてですが、人件費の高騰があります。ですので、先ほど部長も言いました通り、過去最大の予算となっている中には、人件費の高騰分がかなりの部分を占めているということになります。また、コミュニティ・スクール推進事業費を計上しております。来年度から設置、導入予定の、学校運営協議会の活動に対する支援ということで、専門委員1名、それから各小中学校に配置されます運営協議会委員の報酬をそれぞれ10名程度見込んでおります。報酬は1人5,000円で、55万円を計上したところであります。加えて活動費も33万円計上しております。次に、ふるさとキャリア教育・豊かな体験活動促進事業費であります。こちらは、今年度までふるさとキャリア教育と豊かな体験活動は別々で実施しておりましたが、いずれも市の単独事業として取り組んでおり、さらに各小中学校において取り組みやすい形を取るために、2つの事業を統合して、来年度実施することとしております。次に、国際化教育推進事業費の中の姉妹都市交流研修事業費であります。来年度におきましては、姉妹都市メーコン・ビブ郡への派遣という時期になります。今回で8回目になりますが、前回までは生徒16名、随行3名ということで取り組んでおりましたが、生徒の参加希望が多いということで、令和6年度におきましては、生徒16名から20名、4名の増、加えて随行は1名増で4名という体制で派遣をしたいということであります。次に、小学校教材備品等整備事業であります。こちらの中の教師用教科書指導書購入費であります。令和6年度に小学校の教科書が改訂されます。それに伴いまして、教師用の教科用図書、それから指導書を購入するというので、大変、大きい額ですが、3,166万1,000円となっております。学校教育課からの要求予算については概ね予算計上されているところですが、教育研究費にある教育相談員やスタディ・メイトについては、先ほどもありましたとおり、いじめ、不登校の数が増えてきておまして、どのように対応していくか、この後、これは令和6年度、7年度年も含めて、検討していかなければならない課題として残っている状況であります。

続いて生涯学習文化課からです。資料に赤字で記載があります未来枠、新規及び拡充の各事業について説明します。まず、女性青少年活動事業で、放課後子ども教室用スクールバス運行委託費です。今年度に引き続き、重点事業としておましてスクールバスの空きを利用して子供の移動に利用するものです。続きまして、20歳を祝う式開催事業です。20歳を祝う式開催費としまして、感染症対策及び円滑な会場運営のために家族等の参列をおひとりまでと制限していることから、式典の様子をYouTubeでライブ配信し、来場できない方にもご覧いただけるようにするというところで拡充事業としております。次に、ふれあい交流館の改修費です。こちらは体育館照明のLED化の工事でございます。現在、水銀灯を使っておりますが、令和4年に交換したものの3分の1がもう切れている状況であるということから、体育館の照明をLED化して、施設環境の改善及び節電効果をねらい、改修を行うものであります。次に公民館管理運営費であります。防犯カメラ設置工事費です。市内の地区公民館の利用者の安全、安心の確保のために、未設置の11公民館に防犯カメラを設置するものです。続きまして、地域のスゴ技再発見「〇〇×わたし」の事業です。今年度に引き続き公民館で、得意分野を持つ地区住民、いわゆるカッコいい大人に指南役になってもらい、地区の講座やイベントを開催するもので、若年層や働き世代の利用促進を図るものであります。続きまして公民館建

設事業です。田家公民館多目的室整備事業費ですが、こちらについては債務負担行為で令6年度と7年度の2か年事業です。軽運動が可能な多目的室を増設すること、それと太陽光発電パネルを設置するとともに、暑さ対策避難施設クーリングシェルターとして、空調を設置する計画としております。次に、芸術文化推進事業です。黒部シアター2024開催補助金です。5年目となる2024年度は今年度に引き続いて3回の開催で、春、秋、冬を予定しております。春、秋は前沢ガーデンのステージ、秋は映画上映とゲスト出演を予定しております。次に文化財保護調査事業です。文化財保護審議会愛本刳橋調査事業費で、橋脚跡の文化財指定のための調査でありまして、平成29年、30年に一部調査を行っておりますが、それを再開するものであります。続きまして、松桜閣五重塔修復環境整備事業補助金であります。庭園内の塔が経年による基礎地盤の緩みで傾斜しているため、それを事業主体のNPO法人に修理費用の半分を補助するものです。次に吉田科学館の管理事業費です。空調設備増設工事費で、これにつきましては、科学館の空調が平成23年に全館空調から個別空調に変換しておりますが、廊下や休憩コーナーには空調がなく、特に今年度は酷暑だったこともあり、授乳室を含む休憩コーナーと正面玄関に空調を設置するものです。続きまして美術館管理運営費です。開館30周年記念事業として、これまでの活動記録誌を作成するほか、国内外で活躍する県の出身のアーティストの記念講演を開催するものです。生涯学習文化課からは以上です。

スポーツ課長

スポーツ課です。総務費の姉妹都市推進事業の中の、姉妹都市スポーツ交歓団派遣事業費です。41回目になります姉妹都市の根室市とのスポーツ交流で、令和6年度は受入の年度になります。また三陟国際マラソン選手派遣事業費ですが、例年より金額が多くなっております。こちらは、令和2年にコロナ禍のために派遣が叶わなかった4名のうち3名の方について派遣が再開された後、ぜひ行きたいということで、令和6年度派遣の4名に加え計7名をお連れして、4月19日から22日まで派遣するもので、このため少し金額が大きくなっております。続きまして、拡充事業のKUROBE型地域部活動事業費です。現在、運動部活動については休日の活動を地域に移行するよう取り組んでおります。30部活動のうち22の部活動が地域移行しておりますが、残りの部活動について移行を進めていくということで拡充としております。また、スポーツ振興を推進するため、2015年から2024年までを期間とするスポーツ推進プランを策定する作業があります。こちらはスポーツ推進審議会で審議することになります。スポーツ課からは以上です。

図書館長

図書館です。図書館活動費の中にあお一よ図書館1周年記念事業費、それから図書館イベント事業費を計上しております。令和5年10月6日にあお一よ図書館がオープンし多くの方に利用いただいております。令和6年度は利用者の更なる満足度向上、利便性の高い開かれた図書館を目指しまして、これまで余り図書館を利用したことのない方への利用促進を図る取組を進めるため多種多様なイベントの開催費を予算計上しております。機能融合施設あお一よでは、子育て支援センター、公民館、移住・人つなぎ支援センターなど、各施設と融合したサービスを提供し、親子連れやシニア世代など幅広い年齢層をターゲットとした事業を展開していきます。図書館からは以上です。

学校給食センター所長

次に学校給食センター管理運営であります。予算につきましては前年度並みの事業をそれぞれ計上しております。幼小中学校で1日当たり3,200食を予定しております。調理洗浄業務、それから配送業務につきましては、民間委託の方で長期契約を結んでいるところでもあります。今後も給食の安全、安心の提供に向けて取り組んでまいります。

教育部長

教育委員会関係で、合計しまして、22億7200万円増え、一般会計全体の約10%を占めております。今週末3月1日に開会される市議会3月定例会におきまして上程、審議されることとなっております。以上です。

教育長	それぞれの課から説明ありましたが、確認事項、質問等ありましたら皆様からお願いいたします。
委員	(質問等なし)
教育長	<p>よろしいですか。あくまで予算案ということで、3月議会に上程して、議決を経て初めて、確定となりますが、このような内容だということを、委員の皆様にはご承知おきいただければと思います。</p> <p>それでは、報告第2号に移ります。「報告第2号 令和5年度一般会計1月専決補正予算（教育委員会関係）について」報告願います。</p>
教育部長	<p>これにつきましては、能登半島地震に伴う被害等による施設の修繕に係るものでありまして、緊急性を要するというので、議会の議決を経ないで、市長が1月26日、専決処分という方法によりまして、補正予算を成立させたものであります。すべて震災復旧費であります。1番目は学校施設でありまして、補正額は909万5,000円で、うち修繕料は414万5,000円、工事請負費が495万円であります。財源については、国の災害復旧費と市債で、残りは一般財源となります。学校関係の施設になりますが、内訳で多いのが床や壁に亀裂が入ったもの、壁やタイルが剥離したりしたもの、それから物が落下して破損したものであります。また海岸近くの学校では、緊急避難場所として利用する際に、入口のガラスを割って、校舎内に住民の方々が避難されたということで、その修繕をしております。これにつきましては緊急時でしたので、適切な行動であったと考えております。2番目については、公民館及びあこや〜のに係るものであります。補正額は119万8,000円で一般財源での手当になります。各公民館、あこや〜のでの修繕の内容は、学校と同じように、ひびやタイルの剝脱がございました。3番目につきましては、総合体育センターの関係になります。補正額77万円で、一般財源での手当になります。メインアリーナの床板の隙間が広がったりずれたりしたもののについて修繕をしております。以上、合計で補正額は1,206万3,000円であります。説明は以上です。</p>
教育長	報告第2号について、質問があればお願いいたします。既に専決で対応しているというものであります。
委員	(質問なし)
教育長	<p>よろしいですね。</p> <p>それでは続きまして、「報告第3号 令和5年度一般会計3月補正予算案（教育関係分）について報告願います。</p>
教育部長	<p>1番目は、主要施策推進費でありまして補正額は10万円であります。これは昨年12月に、アイザワマシンニング株式会社様が、非公募の社債である私募債を発行されまして、この際に、手続きを行った北陸銀行に対しまして、手数料の一部を黒部市の教育のために寄附するというのを希望されまして、北陸銀行から10万円の寄附があったものであります。こちらは教育文化振興基金に積み立てようとするものでございます。2番目につきましても、主要施策推進費でありまして補正額は496万1000円です。これは長野県在住でございました故八田京子様、この方は生地出身の画家であります富山芳男さんのコレクターでありまして、本市に富山さんの作品を多く寄贈したことのある方であります。この八田さんが生前に遺産を黒部市に寄附をされたい旨の意向を示しておられたところでありまして。令和4年6月にお亡くなりになられ、遺言執行者の弁護士と手続きを進めておりました。令和5年11月に遺贈金の送付がありましたので、美術館の運営、美術の振興のために活用すべく、教育文化振興基金に積み立てようとするものであります。合計506万1,000円で、3月1日から開会される市議会3月定例会に上程、審議されることとなっております。</p>

教育長

報告第3号について質問あれば、委員の皆様からします。

委員

(質問なし)

教育長

よろしいですか。

それでは、続いて報告第4号に移ります。黒部市学校給食についてであります。報告願います。

学校給食センター所長

黒部市学校給食運営委員会に諮問しておりました学校給食の運営について答申を受けております。諮問に対する附帯意見が寄せられております。全体的事項といたしまして、「学校給食の実施に当たって、園児・児童・生徒が安全で安心して喫食できる栄養バランスのとれた給食を提供できるよう努められたい」とありまして、以下、(1)から4項目ございまして、「(1) 学校給食の年間事業に関すること。」では、食育の推進と食事内容の充実や学校・家庭・地域の連携、施設の適切な維持管理について、それから「(2) 給食費に関すること。」関しましては、子供たちに喜ばれる給食を提供して欲しい、国産食材を使って栄養価を確保して欲しいということでした。また、今回、物価高騰を含めた値上げについては妥当だと答申をいただいたところであります。なお、今後の給食費について、燃料高騰などの影響、経済の状況、それから昨今多い異常気象の影響などで、食材費の高騰もまだ見込まれる部分がありますが、そういった物価指数等を見ながら、適切な給食費となるよう検討して欲しいということであります。「(3) 給食物資の調達」につきましては、給食納入食材が滞ることがないように給食提供者に引き続きお願いをしていただきたいとのことです。「(4) 給食に関し必要と認めた事項」につきましては、「令和6年度の学校給食の実施計画に基づいて市内すべての9小学校 2中学校 1幼稚園の12施設に対し、確実に給食が提供できるよう努められたいということでした。詳細な内容につきましては資料「学校給食の運営」にあるとおりです。学校給食の年間事業に関することにつきましては、給食訪問を通じた献立の充実、児童生徒が考えた献立の提供ということで、今年度、学校給食週間に合わせまして、児童が考えた給食の提供を実施しております。大変好評でありまして、こちらの方、食育の推進、それから子供たちの給食食材についていろんな学習の方法もございまして、そういったことを含めて、児童生徒が考えた献立の提供をしていきたいということで拡充予算として、事業として挙げているものでございます。「(3) 学校家庭地域との連携」の「新⑥親子体験活動の実施」であります。夏休み期間を利用いたしまして、給食センターで親子を招いた給食体験会を実施し、親子体験活動を実施したいということで、新規事業として取り組むものでございます。続いて令和6年度の学校給食費についてであります。給食費の額につきましては1食当たり中学校373円、小学校321円、幼稚園277円ということで答申をいただいております。令和6年度学校給食費について、概要、それから、昨今の食材費の現状、給食費の令和3年度から令和5年度までの状況、加えて、令和6年度の給食費の見込みという形で、ご説明を申し上げまして、令和6年度におきましては、先ほど説明した見込額373円につきましては中学校で49円の増。小学校321円につきましては42円の増。幼稚園につきましては277円ということで45円の増が見込まれるということですので。こういった内容についてご審議いただいて、やはり物価高騰については、しっかりと、保護者に伝えておくべきというご意見を保護者の方からいただいた上で、令和6年度の給食費は提案どおり、中学校373円、小学校321円、幼稚園277円で答申いただいたところであります。それから、物資の調達についてですが、給食用の物資の納入業者につきましては、市内で12件であります。これまで16件だったところ、廃止があり4事業者が令和6年度及び7年度の登録を取り下げられたということでもあります。市外におきましては、法人13、個人1で14事業者があります。続いて、「学校給食実施計画」についてであります。1学期、2学期、3学期それぞれ学校運営の日程を合わせまして計202日を予定しております。そのうち、ご飯については159日、パンにつきましては毎週水

曜日43日、計202日ということでございます。日々の給食数であります、3,200食を予定しているということでございます。説明は以上であります。

教育長 今ほどは、学校給食に関して、様々な視点から今まで協議されたことを、資料も交えて報告がありました。確認事項等ありましたら皆様お願いいたします。

委員 (質問等なし)

教育長 よろしいですか。今、学校給食センター所長からの報告ありましたが、資料見ていただきますと、どういうところが変わって、どういうことが大事にされてるのかが分かるようになっております。特に給食費については令和5年度までの給食費、令和6年度の給食費、そしてその差額が記されています。この差額については学校給食センター所長から説明がありましたが、保護者負担にならないようにしてくということ。よろしいでしょうか。

委員 (質問等なし)

教育長 それでは、報告第5号に移ります。各課等からの事業報告、経過及び予定についてであります。順次報告願います。

学校教育課長

〔経過事業〕

- 2月5日 第3回管内市町村教育委員会教育長会（東部教育事務所主催）
- 2月9日 令和5年度市町村教育長・教育委員研究協議会
- 〃 黒部市教育振興協議会
- 2月13日 令和5年度黒部市教育文化表彰式
- 2月14日 黒部市コミュニティ・スクール説明会（明峰中学校）
- 2月16日 黒部市コミュニティ・スクール説明会（清明中学校）
- 2月19日 とやま学校多忙化解消推進委員会
- 2月20日 黒部市生徒指導対策会議
- 2月26日 教育委員会2月定例会

〔予定事業〕

- 2月28日 第2回国際化教育推進協議会
- 〃 黒部市生徒指導対策会議
- 3月1日 黒部市議会3月定例会（～26日）
- 3月14日 中学校卒業式
- 3月15日 小学校卒業式
- 3月25日 教育委員会3月定例会
- 4月5日 小中学校始業式
- 4月8日 中学校入学式
- 4月9日 小学校入学式

生涯学習文化課長

〔経過事業〕

- 2月10日 令和5年度生涯学習フェスティバル（～11日）
- 2月13日 令和5年度伝承芸能・伝承技術士認定式
- 2月19日 第4回黒部踊り街流し実行委員会
- 2月22日 黒部市PTA連絡協議会活動報告会

〔予定事業〕

- 2月28日 第4回吉田科学館運営委員会
- 2月29日 第2回社会教育委員会

- 3月1日 美術館協議会
- 3月4日 令和5年度第1回文化財保護審議会
- 3月6日 第4回黒部舞台芸術鑑賞会実行委員会
- 3月27日 令和6年第1回吉田科学館理事会

スポーツ課長

〔経過事業〕

- 2月4日 第18回黒部市民スキー競技大会
- 2月17日 第17回SKIMO（山岳スキー）競技日本選手権黒部・宇奈月温泉大会（インディヴィジュアル）開会式

〔予定事業〕

- 3月9日 KUROBEアクアフェアリーズ V1リーグ VCup予選ラウンド vs デンソーエアリービーズ
- 3月10日 KUROBEアクアフェアリーズ V1リーグ VCup予選ラウンド vs NECレッドロケッツ
- 3月17日 第41回カーター記念黒部名水マラソンランナーエントリー期限

図書館長

〔経過事業〕

- 1月30日 蔵書点検（～2月2日）
- 2月1日 令和6年度図書館ボランティア募集開始
- 〃 令和6年度黒部市立図書館雑誌スポンサー募集開始
- 2月3日 土曜日よみきかせ会「すまいる・スマイル」（10日、17日、24日）
※10日、17日は清明中学校放送部の生徒がよみきかせに参加
- 2月14日 宇奈月ロータリークラブ文庫贈呈式
- 2月19日 「防災は未来への備え」（～3月31日）
- 2月24日 イベント「ボードゲームであそぼーよ」

〔予定事業〕

- 3月1日 「あなたの大切な人のいのちをまもりましょう～日頃の気づきと声かけを～」（～24日）
- 〃 「宇奈月ロータリークラブ寄贈本」展（～31日）
- 〃 「リサイクル本」展
- 3月16日 「あなたの暮らしに花と緑を」（～4月24日）
- 〃 お花のポットをプレゼント（来館者先着100名）
- 3月21日 合同読書会講演会
- 3月22日 第3回図書館協議会
- 3月24日 よみきかせボランティア研修会

学校給食センター所長

〔経過事業〕

- 2月7日 「北方領土の日」記念給食
- 2月14日 学校給食運営委員会
- 2月19日 学校給食アレルギー対応食保護者面談（～22日）

〔予定事業〕

- 3月21日 3学期学校給食終了

子ども支援課長

〔経過事業〕

- 2月22日 5歳児思い出遠足

〔予定事業〕

- 3月19日 卒園式

教育長 今ほど各課等からの、報告ありましたが、確認事項等ありますでしょうか。2月9日に東京都で令和5年度市町村教育長・教育委員研究協議会がありました。委員から何か一言、ご感想を皆さんにお願いします。

委員 東京での研修に参加させていただきましてありがとうございました。最初に、文科省の活動について説明が1時間ほどありまして、そのあと、グループ討議で、6、7のグループに分かれました。私はいじめと、不登校の問題についてのグループ討議でしたが、それぞれの市町村の状況を説明して、その後、いじめ若しくは不登校のどちらか1つに絞って議論して、各グループの発表をするというような形になりまして不登校のところに入りました。それぞれいろんな話がありまして、その中ですごいと思ったのが、とある市では、他の地域よりも不登校が多く、これをやはり食い止めていかないと、負の連鎖になるということで、市長自身がすごくこの問題に取り組まなければいけないという意識で、福祉の部署と教育委員会の部署とかそれぞれ3名ずつ6名と課長職の7名のチームで、新年度から、不登校対策専門で取り組むことになったということでした。これからの話なので、これから成果を出していかなければいけないということでしたが、その本気度がすごいなということで、他の皆さんとともに、感心をしていました。あといじめの問題で、ある市では、大分前からスクールバディということで、中学校で、生徒同士で相談に乗り、声をかけ合うような仕組みを作っているとのことでした。それが、良い役割を果たしてということで、なかなか大人に相談できない、例えば先生や保護者に相談できないけれども、スクールバディには相談できるみたいな部分もあって、それで、いじめの問題も、解決のきっかけになってるというようなことをお聞きしまして、素晴らしいと感じました。それをもとに皆さんと話した中で、それは不登校の部分にも生かしていけるんじゃないかなというような話がありまして、こういうことも少し参考にしていけばいいかなと感じました。

教育長 お疲れ様でした。今の事例は、これから成果が出るという内容であります。富山県も、小中高、幼稚園等も含めて全部一緒にやっていくという流れになっているところ。これは全国的な流れかなと思います。それと、スクールバディについては、いろんな形でやっているところありますが、どういうふうに組めばいいの、見方によっては人間関係のトラブルになるということもあると、以前、他のところで聞いたことがあります。委員には研修お疲れ様でございました。また、委員の皆様には今後の予定等のところで、出席要請がある小中学校の卒業式や入学式の日程等の調整をお願いいたします。それでは連絡事項等、事務局からお願いします。

- 学校教育課長
- ¶ 中学校卒業式
【日程】 3月14日(木)
 - ¶ 小学校卒業式
【日程】 3月15日(金)
 - ¶ 3月定例教育委員会
【開催日】 3月25日(月) 【時間】 午後1時30分 【場所】 203会議室

教育長 最後に全体通して、確認事項ありますでしょうか。

委員 今回の地震についての資料がありましたが、私が良く出入りしている小学校の玄関では、結構大きな亀裂がありました。以前も同じような場所で大きな亀裂が入ったのを覚えていて、学校自体の耐震をもう一度見直していただいたらいいのではないかと不安を感じています。

学校教育課長	学校施設の亀裂に関してですが、市役所の1級建築士も含めて専門家に全て見ていただいております。建物につきましては、亀裂が入ってもいいような構造になっているそうです。ただ、その亀裂が原因で雨漏りなどがあれば、修繕等は必要ですが、その亀裂が入ったからすぐ修繕が必要ということではないということをお聞きしております。今後、重大な、例えば雨漏りなどが出てきたときには対応していくことで進めているところでございます。我々も心配して、「こんなひびが入って大丈夫かな」と思いましたが、コンクリートの建物はそのような構造になっているそうです。
委員	古くなってきているので心配しました。
教育長	私も1月1日から対応している実際の業者と話す機会ありました。我々は素人ですから、亀裂が入ると地震の影響だと心配するところですが、プロの方々が見ると、色が白くなっている亀裂はあまり心配しなくて良いとのことでした。ただし、亀裂の周りが黒ずんでいるのは、これは何年も前からもう亀裂があって、そこから雨や風が入って黒くなっていることが考えられるということです。いずれにせよ、安全が一番大事ですので、また注意しながら見ていきたいと思っております。ありがとうございます。それでは、本日の会議はこれにて終了したいと思います。お疲れ様でした。どうもありがとうございました。

上記、議事録の正確なることを証するために、次に署名する。

令和6年3月25日

署名人 黒部市教育委員会 教育長 中 義 文